



齊田 輝彦

TCシンポジウム2008京都開催代表
株式会社島津製作所CS統括部 部長

関西地区の会員を代表してご挨拶申し上げます。

TCシンポジウム大阪は、今年で10年目を迎えることになりました。この節目のシンポジウムを初めて京都で開催できることになり、地元の企業として、大変喜ばしく思っております。

マニュアル(紙およびWeb)には、ユーザーと商品のスムーズな係わり合いを有効にし、さらに商品をアピールし、信頼度を高める役割があります。商品のスペックが横並びになりつつあり、スペックだけで差別化を図ることが難しくなった現在、マニュアルも商品価値・ブランドクオリティを左右する重要な要素になっています。また、グローバル化、ユニバーサルデザインの考えが定着する中、だれにでもわかる、思いやりのあるマニュアルが求められています。

10月10日[金] ●展示会は10:00 ▶ 17:00

start ▶	10:00	11:30	12:30
finish ▶		11:00	12:00
パネルディスカッション	◆パ02 制作ツールと制作スキルの関係を整理する ～ InDesignの普及本格化を迎えた今、改めて制作現場視点で考える～		
	◆パ05 業務マニュアルの現状と提言		
事例+研究 発表	◆発11 シンプリファイド・イングリッシュによる 英文ライティングの解説	◆発20 3Dデータを活用したマニュアル制作事例	
	◆発08 みやすく、わかりやすく、商品の魅力を伝える マニュアル	◆発03 ネイティブスタッフから見た翻訳元の和文 マニュアルの品質	
		◆発15 続“松下取説”の革新 ～経営視点、お客様視点の取り組みと成果～	
商品紹介	◆商06 Web2.0技術・ツールを利用した共同作業型 取説コンテンツ作成のご紹介	◆商08 スクリプトによるInDesign自動処理DTP ーあると便利！からXMLも！ー	
	◆商09 デジタル校正ソフト Proof Checker PRO Ver.2	◆商05 テクニカルドキュメントのCMGPライフ サイクル支援	
	◆商07 校正支援ツール「Just Right!3」最新情報と 導入事例		
特別セッション	◆特01 取扱説明に関する規則と安全表記の基本 ～国内外の関連法・規格を理解して、記述の最適化を図ろう！～		

このような背景の中、TCシンポジウム京都のプログラムは、東京開催プログラムを関西向けに凝縮・選択し、パネルディスカッション、事例・研究発表、特別セッション、TC関連商品紹介および日本マニュアルコンテストの入賞事例展示などを取り揃えています。また、京都独自の企画も予定していますので、ご多忙とは存じますが、ぜひ、ご参加ください。そして、新しい知識を収集し、同業種の方々と交流を深めてくださることを願っております。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

	14:00	15:00	15:30	16:30	17:00 19:00
パネル ディスカ ッション	パ 06 UIに求められるTC技術とは ～組み込み型製品取扱情報について～				
	パ 07 特別企画 これからの安全表記のありかたを考える ～欧州TC代表との公開パネルディスカッション その2～				
	パ 08 これからの日本発英文マニュアル ～世界で通用するものにするために～				
事例・研究 発表	発 17 取扱説明書制作システムのIT化による 制作効率の向上		発 16 ライターのキャリアパスとライター教育		
	商品紹介	商 04 XML+XSL-FOを使ったマニュアル作成		商 10 シンプルファイドイングリッシュ文書支援 ツールHyperSTE	
			商 01 ドキュメントソリューションサービスのご紹介		
特別 セッション	特 05 色覚の多様性とカラーユニバーサルデザイン ～赤が目立たない色だと知っていますか？～				
	特 02 文章表現の基本をマスターする				